

授業科目(ナンバリング)	学際連携研究 (AD114)			担当教員	脇野幸太郎・小田和人・大井田かおり・ 大町いづみ・梅野潤子・廣田昌彦・ 高崎伸也・相田美和・末廣真理恵		
展開方法	講義	単位数	2単位	開講年次・時期	1年・前期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ ラーニング の類型
テーマ：(他の専門分野・他職種等との) 連携 1. 本学に設置された4学科の専門分野の概略や課題について説明することができる。 2. 自分の専門分野と他の専門分野が連携することで広がる可能性について意見を言うことができる。 3. 与えられたテーマについてグループの一人として、発言、傾聴、検討する役割を担うことができる。 4. 専門や考え方の多様性について理解し、相互に認め合うことができる。							⑩
ホスピタリティ を構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	本学の専門分野の概略を理解できる。				課題レポート	60%	
情報収集、 分析力	(1) 自分の専門分野だけではなく他の専門分野についての情報を意欲的に収集することができる。 (2) 他の専門分野との連携とその見通しについて意見を述べるができる。				課題レポート	40%	
コミュニケーション力							
協働・課題解決力							
多様性理解力							
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
評価は各ユニットに対してレポートを課し、合算した点数により科目の成績とする。レポートのテーマや提出方法、フィードバック等については、各担当教員により授業内で指示する方法により行う。							
授業の概要							
本学4学科の専門分野の構成と研究アプローチの視点、社会的な活用状況、活躍する分野、課題についてユニット毎に概説し、分野間の連携事例等を提示し、専門分野に対するモチベーションや課題意識の向上を図る。 また、専門職連携で活躍する外部講師の話聞き、実社会で連携する場合の可能性や課題等について理解を深める。 ユニット毎に学際連携に関するテーマでレポートを課す。 この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分である。							
教科書・参考書							
教科書：特に指定しない。 参考書：特に指定しない。 指定図書：各担当教員により授業中に指示する。							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<ul style="list-style-type: none"> 日頃から新聞・ニュース等を見聞きし、実際の地域の経済・文化・医療・福祉など「いのち、健康、暮らし」にまつわる情報や課題について関心を高めておく。 専門の異なる他学科の学生と交流することで、多様性を理解し、幅の広い視野を持つようにする。 学科間の結びつきや学問と職業のつながりを意識することで、卒業後に職業人として活躍することや専門職で連携をとることの意味を理解する。 							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	オリエンテーション	・コーディネータにより科目の目的、授業の進め方、受講する心構え、評価について説明する。 ・学長またはその代務者により、学際連携の意義や社会的な重要性、本学の可能性について講義する。	観光関連の書籍などを読み、次回の授業関連部分を予習すること。
2	《国際観光学科》 観光とは 観光学とは	「観光」とは何か、「観光学」とは何か、および観光の現状について学ぶ。(大井田)	予習:「観光」とは何かについて考えておき、口頭説明できるようにしておく。
3	《国際観光学科》 観光の視覚的側面	観光の視覚的側面および視覚を主とするバリアフリーツーリズムについて学ぶ。バリアフリーツーリズムの可能性について考察する。(大井田)	予習:バリアフリーツーリズムとユニバーサルデザインについて調べておく。
4	《国際観光学科》 健康促進の観光	ヘルスツーリズムを取りあげる。ヘルスツーリズムの可能性について考察する。(大井田)	予習:ヘルスツーリズムについて調べておく。
5	《社会福祉学科》 認知症を理解する。地域で支えるとは	人間の脳の働き、認知症の症状を示す代表的な疾患と認知症の症状について事例を通して学び、制度と支援の可能性について考える。(大町)	復習:認知症を取り巻く制度と支援のあり方について今後の社会変化を予測して考察する。
6	《社会福祉学科》 社会福祉各論①	社会福祉の一領域(貧困・高齢・障害・児童・ひとり親家庭等のいずれか)に関する制度と実際について事例を通して学ぶ。(脇野)	復習:社会福祉の一領域について、事例を踏まえ考察する。
7	《社会福祉学科》 社会福祉各論②	前回の授業に引き続き、社会福祉の一領域(貧困・高齢・障害・児童・ひとり親家庭等のいずれか)に関する制度と実際について事例を通して学ぶ。(梅野)	復習:社会福祉の一領域について、事例を踏まえ考察する。
8	外部講師・ゲストスピーカーによる講話 1	観光や福祉分野で活躍する外部講師やゲストスピーカーにより実社会の現状や課題について話を聞く。	
9	《健康栄養学科》 食事バランス	食事バランスガイドを基に、食事のバランスについて学び、その量・質的偏りによる体への悪影響(生活習慣病など)を知り、その悪影響への地域の疾病対策について考える。(小田)	食事バランスガイドについて調べ(予習)、食生活をチェックする(復習)。
10	《健康栄養学科》 生活習慣と消化器疾患	食生活を含めた生活習慣が大きく変化しており、その結果として様々な消化器疾患を引き起こされている。どのようなメカニズムで病気が起こるのか、またどのように予防すれば良いのかを学ぶ。(廣田)	普段の食生活を含めた生活習慣について振り返ってみる。
11	《健康栄養学科》 スポーツ・運動時の食事	スポーツおよび健康のための運動において、栄養・食事の果たす役割の大きさと重要性が認識されている。今回は、競技スポーツ実践者や心身の健康維持・増進のために運動を行っている者がどのような食事や栄養素を摂る必要があるか考える。(小田)	運動種目の違いにより、食事の摂り方がどう異なるか調べておく。
12	《薬学科》 健康診断の検査値の読み取り方	健康診断の検査値の読み取り方をそのもととなるからだの仕組みから検査値が変化する仕組みまで学ぶ。(高崎)	健康診断で目にする検査項目を調べておく。
13	《薬学科》 飲酒について	日本では20歳以上の飲酒は認められている。過度の飲酒が引き起こす不利益を学び、アルコールとの上手な付き合い方を考える。(相田)	飲酒について、自分が留意すべきことを考えてみる。
14	《薬学科》 身近な医薬品について	近年、高齢化やスイッチOTCなど医薬品がより身近なものになってきている。本授業では、正しく医薬品を使用する方法について学ぶ。(末廣)	服用した医薬品について調べる。
15	外部講師・ゲストスピーカーによる講話 2	健康栄養や薬学分野で活躍する外部講師やゲストスピーカーにより実社会の現状や課題について話を聞く。	